



独立行政法人 物質・材料研究機構と電気化学工業株式会社

「NIMS-DENKA 次世代材料研究センター」を開設

—— 包括的な研究連携に向けた覚書を調印 ——

独立行政法人 物質・材料研究機構
電気化学工業株式会社

独立行政法人物質・材料研究機構（本部：茨城県つくば市、理事長：潮田資勝、以下 NIMS）と電気化学工業株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉高紳介、以下デンカ）は、平成 25 年 6 月 3 日、「NIMS-DENKA 次世代材料研究センター」設立に関する覚書を調印しました。

本研究センターは、産業界のニーズを取り込み、世界水準をリードする新しい研究分野、シーズの発掘・育成を促進するほか、研究成果を次世代の環境・エネルギー材料に活用することにより、環境に配慮した社会づくりへの貢献を目指してまいります。



6 月 3 日調印式 （左：潮田理事長、右：吉高社長）

これまでも NIMS とデンカは、両者の技術やアイデアを組み合わせた技術開発に取り組み、電子顕微鏡の電子源として広く使用される LaB6 単結晶や、白色 LED バックライト用蛍光体といったユニークな製品を世界の市場に送り出すことで、永年にわたるパートナーシップを築いてきました。

しかし近年の、刻々と変化する顧客ニーズやグローバル市場での環境変化は、従来以上の速いスピードでのイノベーションを求めています。革新的な製品やソリューションモデルを生み出す「オープンイノベーション」をより強化させるために、本センターを開設するに至りました。

以 上

<ご参考>

「NIMS – DENKA 次世代材料研究センター」の概要

(1) 組織名

NIMS-DENKA 次世代材料研究センター

センター長：三留 正則（みとめ まさのり）

[国際ナノアーキテクニクス研究拠点 MANA

ナノチューブ ユニット ナノチューブグループ グループリーダー]

(2) 所在地

独立行政法人物質・材料研究機構内

(茨城県つくば市並木一丁目1番地)

(3) 業務内容

次世代機能性材料の研究

LED や電子回路基板・パワーデバイス用放熱板などで使用される蛍光体などの次世代高機能性材料に関する基盤技術の開発に加えて、両者が持つ技術やアイデアを組み合わせ、既存周辺分野・用途に留まらず広くニーズに対応し、革新的な製品、ソリューションモデルを効果的・効率的に生み出して行くべく包括的な研究連携を行う。

NIMS とデンカのこれまでの共同研究について

昭和 58 年（1983 年）、NIMS の前身である無機材質研究所で開発された LaB6 単結晶（LaB6：六ホウ化ランタン）を、デンカは電子顕微鏡の高効率な電子銃として製品化、現在でも世界で広く使用されています。

また平成 21 年（2009 年）には省エネルギー材料の代表格である LED に使用される蛍光体を共同で開発し、液晶テレビのバックライトや照明器具への応用を拡大しています。

なお、いずれの製品も独立行政法人 科学技術振興機構より「井上春成賞」*を受賞しております。

いのうえはるしげ

*井上春成賞・・・大学や研究機関等の研究成果をもとにして、企業化した技術の中から、科学技術の進展に寄与し経済の発展、福祉の向上に貢献したものについて研究者及び企業を表彰するものです。

本発表に関するお問合せ先：

〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1

独立行政法人物質・材料研究機構

広報室 TEL：029-859-2026

研究連携室 連携コーディネーター

加賀屋 豊（かがや ゆたか）

TEL：029-859-2600

FAX：029-859-2500

〒103-8338 東京都中央区日本橋室町 2-1-1

電気化学工業株式会社

CSR・広報室 TEL：03-5290-5511

研究開発部 部長代理

岡田 拓也（おかだ たくや）

TEL：03-5290-5522

FAX：03-5290-5076

NIMS（独立行政法人物質・材料研究機構）について

独立行政法人物質・材料研究機構（NIMS）は、材料科学に関する研究開発を行う日本で唯一の独立行政法人で、次世代に求められる物質・材料研究を俯瞰し「社会ニーズにこたえる材料研究」を理念に運営されています。平成 13 年（2001 年）4 月に文部科学省所管の金属材料技術研究所と無機材質研究所が統合され発足した NIMS は、材料科学分野での基礎研究や開発を総合的に管理推進し、この分野における専門分野のレベルアップを目指しています。このため、NIMS は日本及び世界各国における各機関との連携を深めてきました。

NIMS は「社会ニーズにこたえる材料研究」を理念に、様々な研究分野の知見を融合するため 20 の研究プロジェクトを中心とする柔軟な研究体制を構築して、数多くの研究を強力に推進しています。社会に山積する様々な問題を材料の視点から解決すべく、発足以来重ねてきた成果を社会に役立てるため、平成 23 年（2011 年）4 月にスタートした第 3 期中期計画では、「環境・エネルギー・資源に関する課題の材料面からの解決」に最優先に取り組むとともに、基礎基盤研究を含めた研究開発を通じて、社会への貢献を図っています。

詳細はウェブサイト <http://www.nims.go.jp/> をご覧下さい。

デンカ(電気化学工業株式会社) について

デンカは大正 4 年（1915 年）の創立以来、カーバイド製造技術などを用いて様々な製品を生み出し、その形を変化させながらものづくりを追及してきました。現在では無機や有機の素材から、樹脂加工、電子材料、医薬に至る分野で事業を展開しています。

創立 100 周年を迎える平成 27 年（2015 年）を目指した全社運動「DENKA100」において、百年企業としてのあるべき姿を定めて、社会への確かな貢献とともに、着実に成長し続けられる企業を目指しています。デンカの DNA である「真摯な姿勢と誠実な対応」を次の 100 年も引き継ぎ、「いつまでも信頼されるものづくり企業」を目指しています。

また、デンカは本年 4 月、平成 29 年（2017 年）に向けた新たな成長戦略を策定しました。生産体制の最適化や徹底したコストの総点検を行うとともに、成長市場の新たなニーズをいち早く業績に直結させるべく、「環境」「エネルギー」「インフラ」「健康」などの成長分野に経営資源を集中し、更に次世代製品の開発への取組みを強化いたしました。

今後、NIMS との人的交流や技術セミナーの開催、デンカイノベーションセンター（東京都町田市に建設中、平成 26 年（2014 年）春完成予定）との交流を通じた包括的な研究連携によって、次世代機能性材料の開発を目指してまいります。

詳細はウェブサイト <http://www.denka.co.jp> をご覧下さい。